

## 令和4年度体験活動普及啓発事業

チアフルデー ～ありがとう！きびの森！40周年大感謝でえ～

### 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

親子で自然体験活動を楽しむことで、親子のふれあいの大切さを感じたり、他の家族との交流を深めたりすることをねらいとする。

子供の健やかな成長に体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する機運を高めることを目的とする。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

前夜祭：令和4年11月12日（土）～11月13日（日）1泊2日

本祭：令和4年11月13日（日）日帰り

#### (2) 参加者

##### ① 募集対象・人数

一般（幼児から大人まで）400人（前夜祭80人、本祭320人）

##### ② 参加人数

前夜祭18家族（60人） 本祭49家族（167人）

#### (3) 講師等

石原 恵以子 氏（絵本専門士）

岡山県キャンプ協会 指導員

国立吉備青少年自然の家 外部研修指導員

#### (4) 企画・運営のポイント

- ① 40周年を記念してドローンによる航空写真を撮影することで、参加者の記念になるようにした。
- ② 県下の社会教育団体に声をかけ、展示やブース出展に協力してもらうことで、様々な団体の活動を理解してもらえる機会にした。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前夜祭から参加して宿泊する家族は、家族単位での部屋での宿泊とした。
- ④ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受付での検温、宿泊家族に消毒用アルコールボトルの提供、部屋の換気、職員による食事の配膳などを行った。
- ⑤ 前夜祭からの参加者には、活動時間に余裕を持たせたり、2班に分けて夜の活動を行ったりすることで、家族同士が交流する時間を取りやすくした。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本祭の参加者を400人に制限し、参加は自由参加とせず事前申込み制とし、抽選で参加者を決定した。
- ⑦ 申込フォームを簡略化し、申込時の時間や手間がかからないようにした。
- ⑧ オリンピックレガシーの展示と遊びリンピックを同じ場所であるプレイホールで行うことで、互いのブースが盛り上がるようにした。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程

11月12日(土) 前夜祭	
16:00	受付(玄関)
16:30	開会行事
17:00	入室、就寝準備(宿泊室)
17:30	夕食(レストラン)
18:30	選択活動 ①絵本読み聞かせ(ふれあいホール) ②天体観察(天体観察棟)
20:00	入浴(生活関連棟)・休憩(宿泊室)
22:00	就寝(宿泊室)
11月13日(日) チアフルデー	
6:45	起床・洗面・清掃・荷物移動(宿泊室)
8:00	朝食(レストラン)
ここまでが前夜祭	
9:00	チアフルデー ②カッター活動(鳴滝湖) ②吉備の森自然探検隊(雨天のためチャレンジルーム) ③樹木ビンゴ de ハイキング(所内) ④フィールドアスレチック(ウーリーのぼうけんひろば) ⑤おもしろ自転車(つどいの広場) ⑥吉備の紹介コーナー&ボーイスカウト展示(オリエンテーションルーム) ⑦授乳室+ちびっ子ルーム(学習室1) ⑧遊びリンピック(プレイホール、学習室2) ⑨クラフト(学習室3) ⑩絵本広場(グリーンルーム) ⑪ペタンク・カプラ(ふれあいホール) ⑫岡山県キャンプ協会によるクラフト(ラウンジ) ⑬岡崎嘉平太写真展示(レストラン前) ⑭オリンピックレガシー展示(プレイホール) ⑮40周年記念航空写真撮影(下の広場)
15:30	終了・解散

※昼食・・・レストラン3交代制(①11:15~12:00、②12:00~12:45、③12:45~13:30)

(2) 活動の状況



【開会行事】



【前夜祭・天体観察①】



【前夜祭・天体観察②】



【前夜祭・絵本読み聞かせ①】



【前夜祭・絵本読み聞かせ②】



【受付】



【カッター活動①】



【カッター活動②】



【吉備の森自然探検隊】



【遊びリンピック①】



【遊びリンピック②】



【遊びリンピック③】



【岡山県キャンプ協会】



【吉備 & ボーイスカウト展示】



【カプラ】



【ペタンク】



【クラフトコーナー①】



【クラフトコーナー②】



【オリンピックレガシー】



【40周年記念航空写真撮影①】



【40周年記念航空写真撮影②】



【40周年記念航空写真撮影③】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

満足：81% やや満足：19%

##### (2) 参加者の声

- ① 子供がさわる木などが磨かれていて、安全に遊ぶことができました。
- ② 体験型のイベントが多くて、よい刺激をいただきました。子供たちもとても楽しんでいました。
- ③ スタッフの皆さんがどなたも優しく、とても楽しめました。
- ④ あいにくの天気で参加を迷いましたが、多くのブースが解放されていて、貴重な体験ができました。来てよかったです。
- ⑤ 1日では時間が足りないうらい楽しめました。
- ⑥ 久しぶりに家族で楽しく過ごせました。いい思い出ができました。
- ⑦ コロナ対策がとられていて、安心して食事や活動ができました。

##### (3) 成果

- ① 40周年を記念して、他の社会教育団体にも展示やブース協力をしてもらうことで、参加者により多くの種類の体験を提供することができた。
- ② 前夜祭は、普段家族単位では利用しにくいプログラムとして、絵本の読み聞かせと天体観察を入れたことで、どちらも大変盛り上がった。
- ③ プレイホールに遊びオリンピックとオリンピックレガシーを設置したことで、互いのブースに関連性が生まれ、より活動が盛り上がった。
- ④ 雨天実施の経験がなかったが、本祭のスタート時に雨が降ったので、天候の状況を見ながら臨機応変に実施することができ、ノウハウの習得にもつながった。

- ⑤ 40周年記念航空写真撮影の参加者は事前に募集していたが、当日キャンセルが多く出てしまい、急遽、放送などで参加者を募って協力を得ることができ、「キビ40」の人文書の撮影を行うことができた。
- ⑥ 受付時での検温・消毒の実施、屋内でのマスク着用、部屋の換気、スタッフのマスク着用など、感染拡大防止対策を徹底した。職員・ボランティアで共通理解することで参加者に安全に活動を体験していただくことができた。
- ⑦ ブース数は多かったが、事前展示を行うことで、余裕をもって準備することができた。

#### (4) 今後の課題

- ① 新型コロナウイルスの影響や天候によって多くの当日キャンセルが出たり、連絡なしに来られない家族も多かったりした。また、県の他のイベントと日程が重なり、警備員の確保や他団体の協力などに影響が出た。大きな事業なので、早めに準備を進めたいところではあるが、社会の情勢や他のイベントなどの動向も踏まえながら、計画的に且つ柔軟に企画していく必要がある。
- ② キャンセル対応について方針は定めていたが、天候により想定以上のキャンセルが入り、対応に追われた。天候にかかわらず、キャンセルが出ないような内容を考えていきたい。
- ③ 今年度も定員を上回る応募（約2.3倍）があり参加決定は抽選となった。2年前から事前申込み制にしているが、人数制限のある活動の調整やレストランの食数の把握には有効な反面、登録情報の確認や抽選後の連絡等にかなりの時間が必要となる。昨年度の反省をもとに業務の精選と割り振りをしていたが、主担当から外せない役割が多く、社会の動向と業務負担のバランスを考えながら、申込の形式を考えていく必要がある。
- ④ 前夜祭から関わるスタッフは昨年に比べ多かったが、当日の総スタッフ数は昨年度より少なくなっており、時間帯によって、手薄になるブースがあった。安心安全で効果的な運営を行うために、スタッフの確保に努める必要がある。
- ⑤ 他の社会教育団体に協力していただいたおかげで、多くの展示やブースを運営することができたが、連絡や打合せにかなりの時間がかかり、申請などの事務負担も大きかった。適切な担当や業務の割り振りを考えていきたい。

担当：主任企画指導専門職 延原 正章